

3月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1
T e l 0 5 2 (6 7 1) 4 1 5 3 F a x 0 5 2 (6 8 1) 0 5 3 8

公式HP



今年も豊作でありますように

祈年祭(きねんさい)

3月17日(火)

午前10:00

本宮・別宮・摂末社

祭典・神事

祈年祭は五穀豊穰と産業の繁栄を祈る祭典です。この祭典は「トシゴイノマツリ」ともいい、この「トシ」とは稲のことで、その実りが豊かであることをお祈りします。当神宮では、本宮はもとより五穀豊穰の神様をお祀りする御田神社をはじめ全ての摂社末社で祈年祭が執り行われます。春の祈年祭と秋の新嘗祭は日本古来の農業神事で全国で執り行われています。



鳥喰の儀と韓神舞を奉納

御田神社(みたじんじゃ)祈年祭

3月17日(火)

午後2:00

御田神社

祭典・神事

五穀豊穰の神様である大年神(おおとしのかみ)をお祀りする御田神社の祈年祭では、祭典の前に、「ホーホー」と唱えながらお供物を土用殿の屋根に投げ、鳥にお供物を食べて頂く「鳥喰(おとぐい)の儀」が行われます。祭典中には「韓神舞(からかみのまい)」という、独特の所作をする舞も執り行われ、非常にめずらしい祭典です。



○古くは、鳥喰の儀のお供物を、鳥が飛んできて食べられなければ、祭典が行われなかったとも伝えられています。

お氷上さんの愉快な神楽

氷上姉子神社太々神楽(だいだいかぐら)

3月29日(日)

午後2:00

氷上姉子神社(境外摂社)

祭典・神事

緑区大高町に鎮座する当神宮摂社の氷上姉子神社で、東海地方に広く伝播した熱田神楽を奏し、農作物の豊作を祈願します。

当日は追儼・招福などを祈る、ここでしか拝観できない神楽を神前で奉奏します。



○この神楽は江戸時代中期頃より始まったといわれ、明治初年まで熱田神宮の神前でも奉納されていました。その後は神楽元に引き継がれて、やがて市南部に普及し氷上姉子神社で行われるようになりました。



熱田神宮宝物展

コーナー展示「四季」

2月27日(金)～3月24日(火)

午前9:00～午後4:30

宝物館

宝物展示

我が国には春夏秋冬があり、古来先人たちは四季折々の情景を感じ、愛でてきました。今月のコーナー展は、絵画や工芸品にあらわされた四季の情景を紹介し、先人から受け継がれた感性を感じ取って頂ければ幸いです。

主な展示品（展示品数 約80点）

【重文】日本書紀 卷第十二、【重文】古神宝類 錦包挿鞋、【県文】般若心経、旭日桜花 横山大観筆 他

- 入館料 ・大人500円、小中学生200円
[両館共通券 大人800円、小人300円]
・入館は午後4時00分まで
・団体割引あり。詳しくは文化課（052-671-0852）まで。



剣の宝庫 草薙館 刀剣展

「村正」

2月25日(水)～3月23日(月)

午前9:00～午後4:30

剣の宝庫 草薙館

刀剣展示

当館は真柄大太刀含め、名刀10数口の他、関連史料の展示、また実際に真剣や真柄大太刀の重さを知ることのできる体験コーナー、映像ブースも兼ね備えております。

今月の主な展示品

【県文】短刀 銘 村正
脇指 銘 村正
刀 銘 正真 他

- 入館料 ・大人500円、小中学生200円
[両館共通券 大人800円、小人300円]
・入館は午後4時00分まで
・団体割引あり。詳しくは文化課（052-671-0852）まで。



文化講座

『明日へのあゆみーくらしとしくみー』

3月14日(土)

午後2:00～午後4:00

文化殿講堂

教養

[演題]

大黒屋光太夫～帝政ロシア横断と日本帰国への道・
貫いた神々への信仰～

[講師]

鈴鹿市文化スポーツ部文化財課
大黒屋光太夫記念館学芸員 代田 美里 氏

- [聴講料] 無料
[お問合せ] 052-671-0852（熱田神宮文化殿）

